

# ナノカーボン材料「酸化グラフェン」の生体応用

—再生治療ならびに歯周病治療に向けた試み—

ノーベル賞受賞対象材料であるグラフェンの酸化体、酸化グラフェン(GO)は、様々な酸素官能基を有する厚さ1nmの二次元ナノシートであり、化学・物理的多機能を示す。我々は、GOの合成や機能性に関して研究してきたが、最近生体への応用が新たな展開を見せている。今回の医工連携の講演会では、北大の宮治先生から、GOの組織再生効果などについて歯学の立場から、その大きな可能性についてご講演頂きます。GOの医療分野への応用が拡大している最新の報告をぜひ多くの方に知ってもらいたく、多数のご参加をお待ちいたしております。

研究担当理事 松本泰道

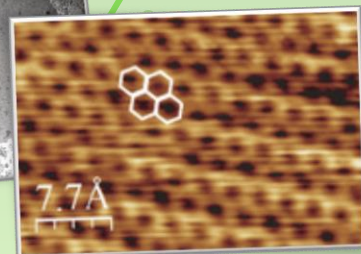
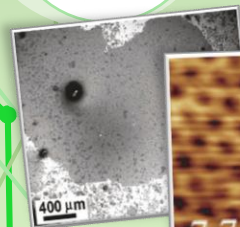
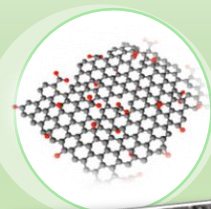
日時 2016年4月20日(水)

17:00~18:30

場所 医学教育図書棟3階 第2講義室



本荘・九品寺地区MAP



講師

宮治 裕史

Hirofumi MIYAJI

北海道大学

病院歯周・歯内療法科 講師



問い合わせ先

マーケティング推進部

研究推進ユニット 黒木 内線3303